

平成 年 月 日

申請者 発電事業者名
代表者氏名

バイオマス原料の調達及び使用計画書

再生可能エネルギー発電事業におけるバイオマス原料の調達及び使用計画は下記のとおりです。

1. 使用原料

(1) 畜産業・農業・水産業廃棄物、資源作物

原料名	年間使用数量 (t/年) (注1)	調達地域 (注2)	調達先	購入単価 (円/t)	備考	
家畜糞尿	1,500 t	〇〇県〇〇市	〇〇農場	100円 (処理料金~~円)		
	1,500 t	〇〇県〇〇市	株式会社	100円 (処理料金~~円)		
農業残渣	規格外農作物	500 t	〇〇県〇〇市	〇△農園	100円 (処理料金~~円)	※バイオマス原料として使用する以前の用途を記載
	稲わら	300 t	〇〇県〇〇市	〇△農園	100円 (処理料金~~円)	
	トマトの茎	200 t	〇〇県〇〇市	〇△農園	100円 (処理料金~~円)	
水産加工残渣	1,000t	〇〇県〇〇市	株式会社水産	100円 (処理料金~~円)		

(注1) 素材生産者が複数にわたる場合は生産者ごとの予定数量を記載。

(注2) 市区町村単位で記入し、複数市区町村にわたる場合は同一欄内に全て併記すること。

(2) 食品廃棄物

原料名	年間使用数量 (t/年) (注1)	調達地域 (注2)	調達先	購入単価 (円/t)
食品廃棄物	450 t [<ul style="list-style-type: none"> ・パン工場 100 t ・給食センター 50 t ・豆腐製造工場 300 t]	〇〇県〇〇市	・(株)〇×製パン ・△△市学校 給食センター ・(有)■●食品	・パン工場 ▲8,000 円 (処理料金～～円) ・給食センター ▲25,000 円 (処理料金～～円) ・豆腐製造工場 ▲7,000 円 (処理料金～～円)

(3) 下水汚泥

原料名	年間使用数量 (t/年) (注1)	購入単価 (円/t)	調達地域 (注2)	調達先
下水汚泥	200 t	▲20,000 円 (処理料金～～円)	●●県 〇△市、〇〇町	〇×下水処理場

2. バイオマス原料の入手ルート (発生源～発電所)

(1) 畜産業・農業・水産業廃棄物

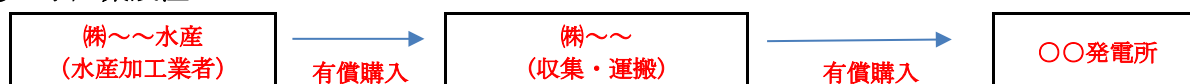
① 家畜糞尿



② 農業残渣



③ 水産業残渣



(2) 食品廃棄物



(3) 下水汚泥



(4) その他（紙）



4. 使用原料の説明

原料名	廃棄物区分 (廃棄物の場合)	廃棄物・有価物区分	原料の具体的内容
家畜糞尿	産業廃棄物	有価物	近隣養鶏・養豚業者で発生した家畜糞尿
農業残渣	事業系一般廃棄物	有価物	出荷規格外農産物、稲わら トマトの茎
水産加工残渣	事業系一般廃棄物	有価物	水産加工業者で発生した 水産加工残渣
食品廃棄物	産業廃棄物	廃棄物	出荷規格外商品、製造残渣、 製造在庫、食べ残し
下水汚泥	産業廃棄物	廃棄物	下水処理後の発生汚泥
その他（紙）	事業系一般廃棄物	廃棄物	産業廃棄物処理業者で発生した 廃棄紙

5. 発酵残渣（消化液（固液分離する場合は固分、液分の両方））の取扱いについて（堆肥・液肥利用、浄化処理等）

発酵残渣は、固液分離の後、固形分は再生敷料として、液体（消化液）は品質の安定した肥料として、〇△県〇△市の畜産農家及び耕種農家の圃場で利用する。

6. 発酵残渣以外の熱等の副生成物の処理又は利用法

発電時に発生する熱（温水）をメタンガス発酵槽の凍結防止に使用し、周年安定生産を可能とするとともに、施設内の機器の洗浄に利用する。

7. 事業円滑化のための地域社会に対する対応（事業推進方策等）

説明年月日：平成 29 年 4 月 10 日

説明方法：近隣住民説明会開催

地域住民の反応：近隣河川・用水路の水質汚染についての懸念

対応策等：液肥として最大限活用する。排水については浄化処理を行う。